

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 広域物資輸送訓練事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 地域支援係 電話番号：058-272-1111 (内2843)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,260 千円 (前年度予算額：1,760 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,760	0	0	0	0	0	0	0	1,760
要求額	1,260	0	0	0	0	0	0	0	1,260
決定額	1,260	0	0	0	0	0	0	0	1,260

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県では、大規模災害時に実施する「プッシュ型」の物資支援に対応するため、平成30年3月に「岐阜県広域物資輸送拠点物資集積・輸送マニュアル(案)」を作成するとともに、広域物資輸送拠点において、荷下ろし・仕分けを行うためのフォークリフト等を順次整備しているところであり、災害発生時における拠点運用の実効性を高めるためには、マニュアル(案)を随時見直ししながら更新していく仕組みづくりと、フォークリフト等、作業に従事する職員の習熟度を高める取り組みが必要となっている。

(2) 事業内容

広域物資輸送拠点として指定されている9施設について、物資の輸送訓練を行い、拠点運営及びフォークリフト等の操作を行う職員の技術の向上を図る。

また、各拠点で行う訓練の結果を集積し、物資のレイアウト、運営・作業に必要な人数、各団体との協定内容等について検証を行い、マニュアル(案)の見直しや必要な施設の整備を実施し、実効性の向上を図る。

訓練実施の際は、「ラストワンマイル問題」の解消に向けた手法を市町村と一緒に考えているための研修会を合わせて行うことを検討する。

(3) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	900	訓練実施業務の委託
旅費	100	訓練開催及び準備に係る旅費、訓練実技指導に係る講師費用弁償
報償費	20	訓練の講師謝金
消耗品費	70	パレット、梱包用フィルム等
燃料費	30	公用車燃料代
役務費	40	訓練荷物配送代
使用料	100	訓練会場の使用料
合計	1,260	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県災害時広域受援計画

(2) 後年度の財政負担

今年度と同額程度

(3) 事業主体及びその妥当性

県の広域受援体制の実動訓練であり、県が事業主体となる必要がある

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県広域物資輸送拠点における訓練を実施及びマニュアル等を見直し、南海トラフ巨大地震といった「超」大規模災害の発生時においても、川上から川下までにいきわたる「災害に強い物流システムの構築」を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
県広域物資輸送拠点における訓練の実施	6施設	6施設	8施設	9施設	9施設	67%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	岐阜メモリアルセンターとセラミックパークMINOの2施設で物資輸送訓練を実施した。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症まん延のため、訓練中止となった。
	指標 目標：9施設 実績：6施設 達成率：67%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	大規模災害時における円滑な物資輸送を実現するため、訓練を実施し実効性の高い体制を整える必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	訓練の実施により期待どおりの効果をあげている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価) 2	前回の訓練での課題を教訓にし、次につなげることで効率的に実施できている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 拠点運用のため、訓練にて抽出された資機材不足や人員の確保等の諸課題を早急に解消する必要がある。また、継続的に訓練を実施し、拠点運用要員の技術を一定に保つ必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 毎年継続的に訓練を実施し、マニュアル等の随時見直しや従事する職員の技術レベルを確保する。また訓練によって明らかになった必要な資機材を整備することにより、実効性の高い体制を整える。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	